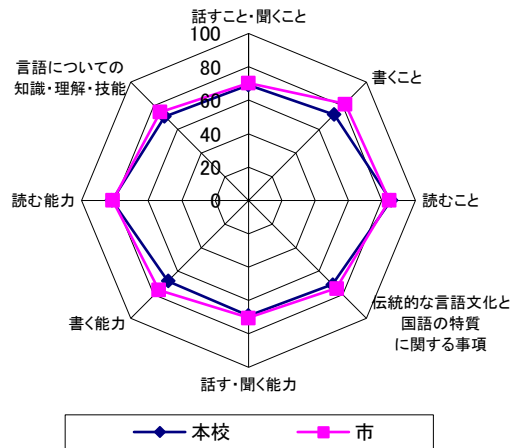


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                      | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 話すこと・聞くこと            | 69.1 | 70.3 | 68.2 |
|     | 書くこと                 | 72.7 | 81.7 | 80.6 |
|     | 読むこと                 | 85.3 | 84.3 | 84.3 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 71.2 | 74.7 | 72.7 |
|     |                      |      |      |      |
| 観点別 | 話す・聞く能力              | 69.1 | 70.3 | 68.2 |
|     | 書く能力                 | 68.2 | 76.0 | 74.1 |
|     | 読む能力                 | 81.7 | 81.3 | 81.1 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 71.2 | 74.9 | 73.1 |
|     |                      |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域                   | 本年度の状況                                                                                                                                   | 今後の指導の重点                                                                                                                                                              |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 話すこと・聞くこと            | ●本校の平均正答率は69.1%であり、市の平均正答率を1.2ポイント下回っている。<br>○話し手の意図や工夫を考えながら、話し合いの内容を聞き取る問題では、市の平均正答率を上回っている。<br>●司会者の役割を理解して、計画的に話し合うことは、やや苦手な傾向が見られる。 | ・継続して課題を設定したスピーチの機会を設け、発表の際の言葉づかいの意識付けを行っていく。さらに、質問の場も設けることで聞く力の定着も図る。<br>・スピーチメモ作りの時間を大切にし、どのような構成で話すのかの意識付けができるようにする。<br>・役割を意識した話し合いを継続し、見通しをもった話し合いが展開できるようにしていく。 |
| 書くこと                 | ●本校の平均正答率は、72.7%であり、市の平均正答率を9ポイント下回っている。<br>●指定された長さで文章を書くこと、段落構成を意識して文章を書くことに関して、苦手な傾向が見られる。<br>○グラフから読み取った事実を書く問題では、市の平均正答率を上回っている。    | ・行事ごとに、気付いたことや感じたことを作文にする機会を設ける。<br>・テーマや文章の長さを設定し、条件に即して文章を書く力の定着を図る。<br>・自分の意見と事実を区別することを意識することができるよう指導し、さらに作文を書く力の定着を図る。                                           |
| 読むこと                 | ○本校の平均正答率は、85.3%であり、市の平均正答率を1ポイント上回っている。<br>○登場人物の心情を読み取る問題では、市の平均正答率を上回っている。<br>●場面の描写を読み取る問題では、市の平均正答率を下回っており、やや苦手な傾向が見られる。            | ・説明的文章の読み取りについては、段落ごとに小見出しを付ける工夫を行い、段落相互の関係に着目できる学習を展開していく。そして、筆者が最も言いたいことは何かをしっかりとらえ、的確に文章を読み取れるようにしていく。<br>・いろいろな分野の本の読書や家読を継続して奨励する。                               |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ●本校の平均正答率は、71.2%であり、市の平均正答率を3.5ポイント下回っている。<br>○漢字の読みのすべての問題で、市の平均正答率を上回っている。<br>●漢字の書きの問題では、やや苦手な傾向が見られる。                                | ・今後も漢字の定着を図るため、漢字小テストや漢字練習などの基本的な取り組みを継続して行う。<br>・テストの復習の時間を設け、漢字の読み書きの力の向上を図っていく。<br>・授業中の書く活動の時間を大切に、言語力の向上を図る。                                                     |
|                      |                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                       |
|                      |                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                       |